

隠れキリシタン

▶ 2023.12.10(日)

太陽がふぁ〜っと昇る頃には、
伽藍では、「はんにゃ〜は〜ら〜み〜た〜…
”無数”のお坊さん達が、般若心経の大合唱をなされておられます。
そうです、禅寺の朝のおつとめです。
朝飯もくわんで、
若いおにいさん方が
腹の底から大地を揺すするような軽快なリズムで読経をされております。
いろいろな宗派のお経を聞きましたが、
禅宗のお経って”ロック”ですよねぇ。
軽快で、聞いていてからだか”のりのり”になります。

最後列の端に小柄な坊さんがいやいやお経を読んでいます。
なんか、”くちばく”のようです。
隣にすわっている兄貴分と思われるお坊さんがその小柄な坊さんの横腹をつついておられます。
実は、この小柄なお坊さんは、仏教になじめないんですねえ。
実家がお寺さんで、長男なもんだから、このお寺に修行にほうりこまれたのです。だから、おつとめも、いまいち気乗りがしません。
それどころか、おどろいたことには、
この坊さんの法衣の裏には、大きな十字架がぬいつけてあるのですよ。
そうです。この坊さんは”隠れキリシタン”なのです。
マリア様の慈愛にこよなく心酔しておるのです。
ふんどの裏側には”まりあ命”と縫い込んであります。
キリストはきたないから嫌いです。
キリシタンというよりも、単なる”まりあ”ファンであるだけなのですが…
お母さんとは、はやくから生き別れになったせいなのかもしれません。
お母さんがどうしたかって？
やはり、仏教になじめず、若い寺男と蓄電してしまいました…
いや、”仏教になじめず”はいいわけのようですが…
世の中、なんでも起こるものですよ。
神も仏もないんです、はい！